

# 光明製作所 型式 MB17～MB24 メータユニット 一次側の構造とメンテナンスについて

## 目次

1. 構造
2. メンテナンスについて
3. メンテナンス用部材について
4. メンテナンス方法

# 1. 構造

一次側にはスライドハンドル・伸縮管・Oリングが組み込まれています。(図)

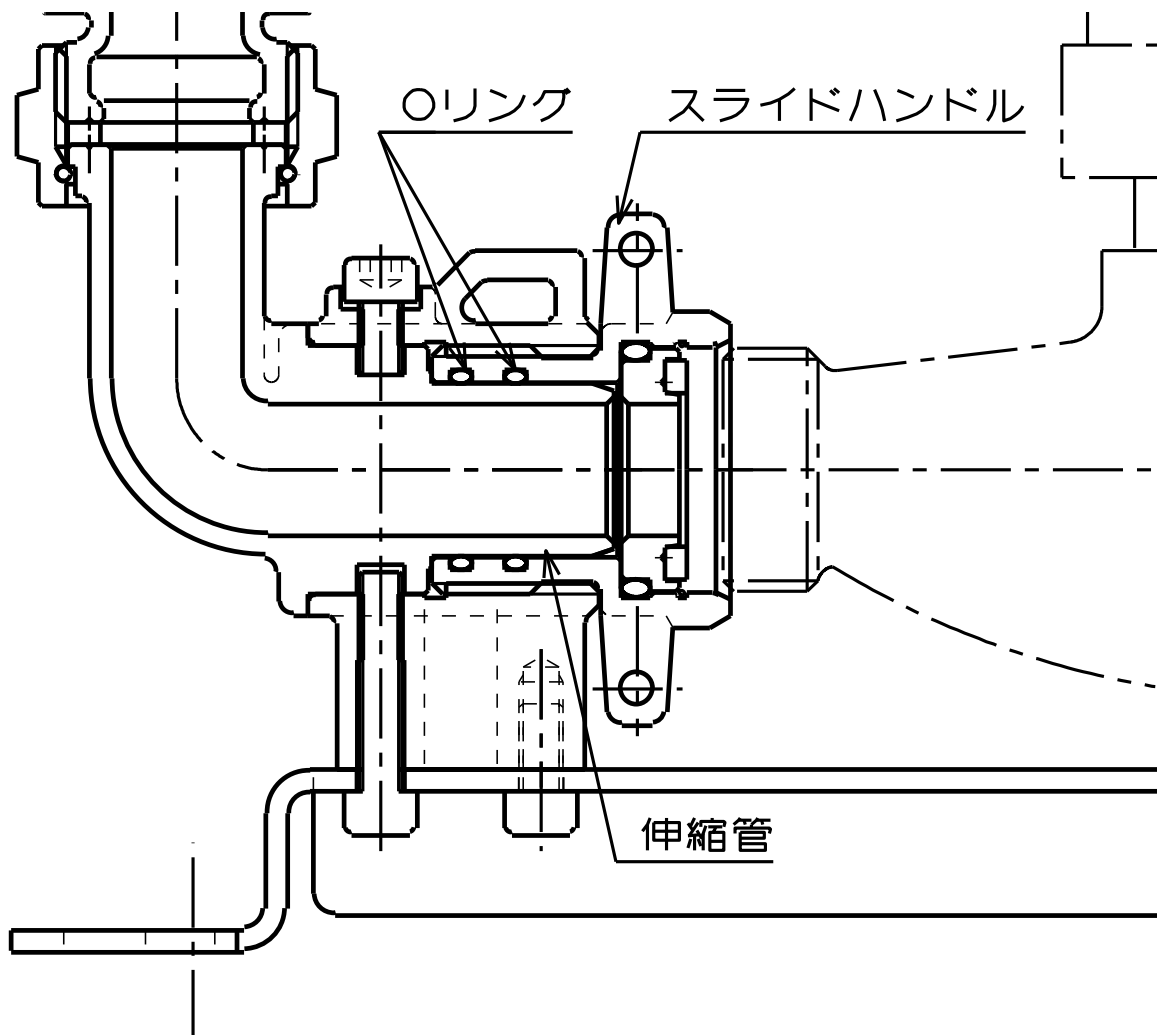


図 メータユニット(MB17~MB24)一次側の構造

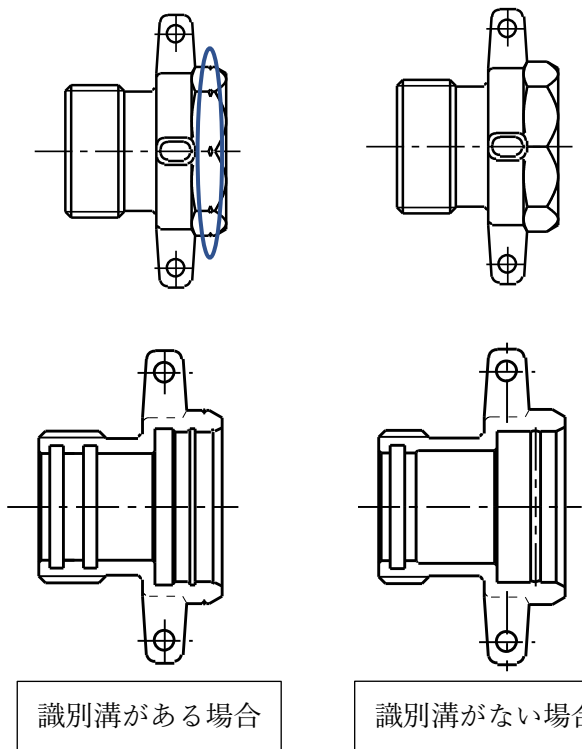
## 2. メンテナンスについて

- ① スライドハンドルに内蔵されているOリングへの異物の噛み込み、経年劣化などが原因で伸縮部より漏水が発生することがあります。  
水道メーターの定期交換等において、一次側のOリング交換を行う場合は次項の「メンテナンス方法」を参考にOリングを交換するなどメンテナンスを行っていただき、引き続きご使用いただけるように維持管理をお願い致します。
  
- ② 同一型式でも識別溝の有無(※3. メンテナンス方法参照)により、使用するOリングが異なります。「3. メンテナンス方法」に記載の品番をご確認下さい。
  
- ③ スライドハンドルの締め過ぎなどで、スライドハンドル・伸縮管の変形が見られる場合は、Oリングによる止水が不十分になる可能性があるため、ユニットの交換を推奨します。
  
- ④ Oリング交換時にスライドハンドルのOリング取付溝・伸縮管に傷がつくと漏水の原因になります。爪楊枝や竹串をご準備下さい。

### 3. メンテナンス方法

型式：MB17～MB24

① スライドハンドルの識別用溝を確認する。

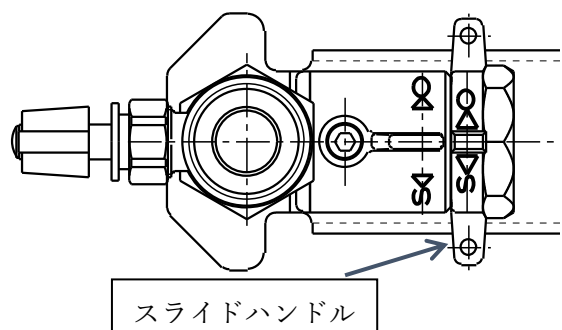


② Oリングの番号を確認する。

φ 13 : P-16 (2本)  
 識別溝あり φ 20 : JASO-2023 (2本)  
 φ 25 : JASO-2030 (2本)

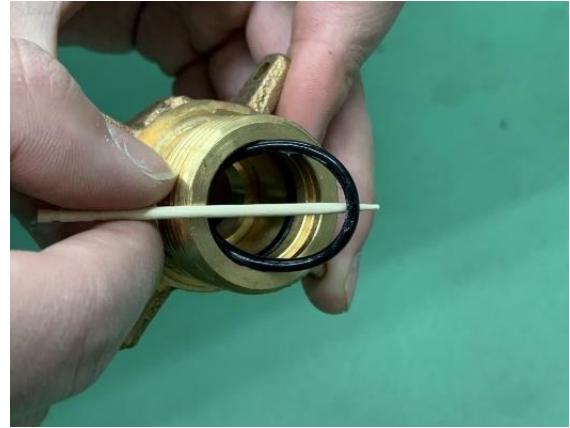
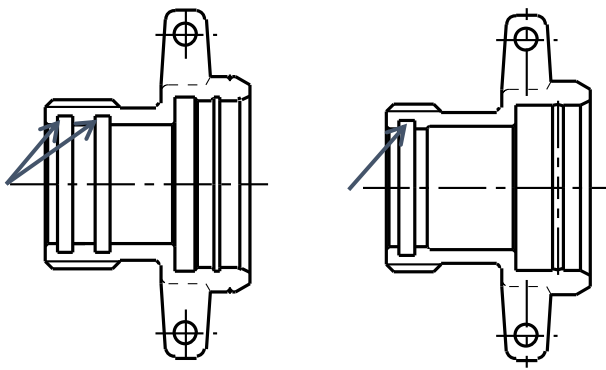
φ 13 : JASO-2017 (2本)  
 識別溝なし φ 20 : JASO-2023 (1本)  
 φ 25 : JASO-2030 (2本)

③ 一次側のスライドハンドルを二次側から見て左(S方向)へ回し、スライドハンドルを取り出す。



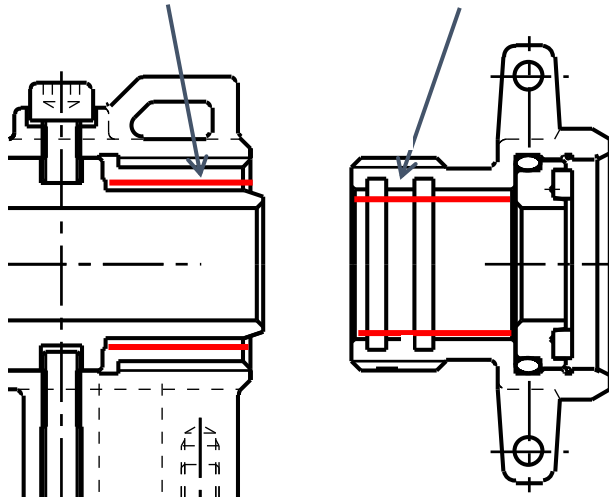
- ④ スライドハンドルを抜き取り、Oリング溝を傷つけないように爪楊枝や竹串でOリングを取り外す。  
Oリング溝に傷がつくと漏水の原因になります。

Oリング箇所



- ⑤ スライドハンドル・伸縮管を清潔なウエスなどで清掃する。

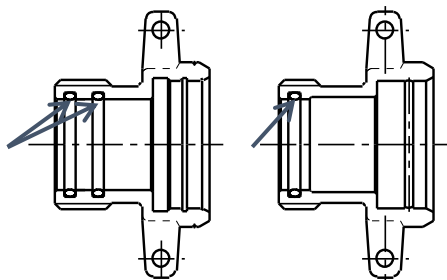
水垢・スケール・異物などを除去



⑥ Oリングにグリスを塗布し、スライドハンドル内側に取り付ける。

塗布するグリス  
(信越シリコーン KS-65A 相当)

Oリング取付箇所



識別溝あり

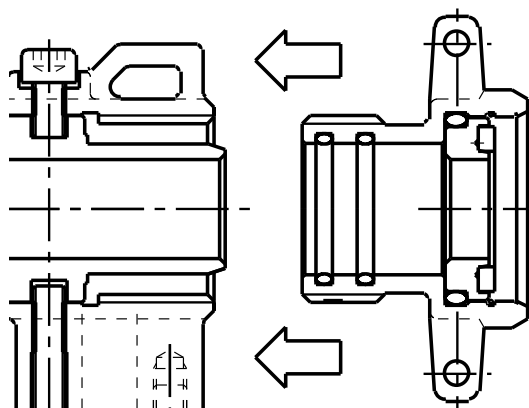
φ 13:P-16 (2本)  
φ 20:JAS0-2023 (2本)  
φ 25:JAS0-2030 (2本)

識別溝なし

φ 13:JAS0-2017 (2本)  
φ 20:JAS0-2023 (1本)  
φ 25:JAS0-2030 (2本)



⑦ 一次側のスライドハンドルを二次側から見て右(O方向)へ回し、元通りに戻す。



⑧ 水道メーターを取り付け後、通水させ漏水していないことを確認する。